

Daily Report (号外)

～FOMCの結果について～

概要

FRB(米連邦準備制度理事会)は、9月15-16日に開いたFOMC(連邦公開市場委員会)において、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を0.25%引上げ、3.75-4.00%とすることを全会一致で決定しました。

FOMC後に発表された声明文では、景気判断に「国内消費は底堅い」との文言が加わったほか、物価についてエネルギーなど供給ショックの影響に触れた部分が削除され、「本日の政策措置は目標のインフレ率2%へのより速やかな回帰を支える」との文言に置き換えられました。

今回発表された経済見通し(SEP)では、2026年、2027年の成長率見通しが小幅に上方修正されました。失業率見通しは2026年から2028年にかけて小幅に下方修正され、労働市場の底堅さが見込まれています。インフレ率に関しては、中東情勢の緊迫化に伴う原油高の影響もあると見られ、2026年の見通しが前回見通しから上方修正されました。2027年の見通しは据え置かれていましたが、2028年の見通しも小幅に引上げられ、目標のインフレ率2%への回帰は、今回追加公表となった2029年となりました。

ドットチャート(政策金利見通し)では、2026年末の中央値が前回6月の3.8%から4.1%へと引上げられ、年内あと1回の追加利上げが示唆されました。また、長期見通しも、前回3.1%から3.2%へと引上げられました。

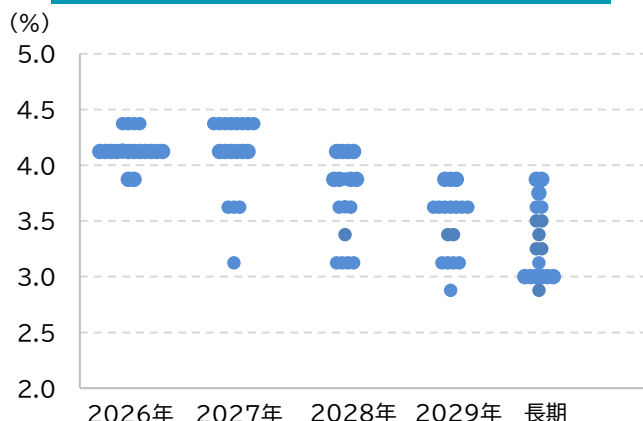
ウォーシュ議長は会合後の記者会見で、「インフレ率は高すぎ、その状態が長く続きすぎている」と述べ、今回の利上げは金融環境を政策目標により整合的なものとするため「緩和の度合いを一部取り除いた」と説明しました。長期金利の上昇については、経済の底堅さに加え、大手IT企業の旺盛な設備投資に伴う「資本をめぐる競争」が一因との見方を示し、現在の金融環境は「引締めめ」とは言い難い」との認識も示しました。

図表1 FOMC参加者の経済見通し
(中央値ベース)

	2026年	2027年	2028年	2029年	長期見通し
GDP成長率	2.3%	2.4%	2.2%	2.1%	2.0%
(前回6月)	2.2%	2.3%	2.2%	-	2.0%
失業率	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.2%
(前回6月)	4.3%	4.3%	4.2%	-	4.2%
PCEデフレーター	3.7%	2.3%	2.1%	2.0%	2.0%
(前回6月)	3.6%	2.3%	2.0%	-	2.0%
コアPCEデフレーター	3.4%	2.5%	2.2%	2.0%	-
(前回6月)	3.3%	2.5%	2.1%	-	-
FFレート(中央値)	4.1%	4.1%	3.9%	3.6%	3.2%
(前回6月)	3.8%	3.6%	3.4%	-	3.1%

出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測
(ドットチャート)

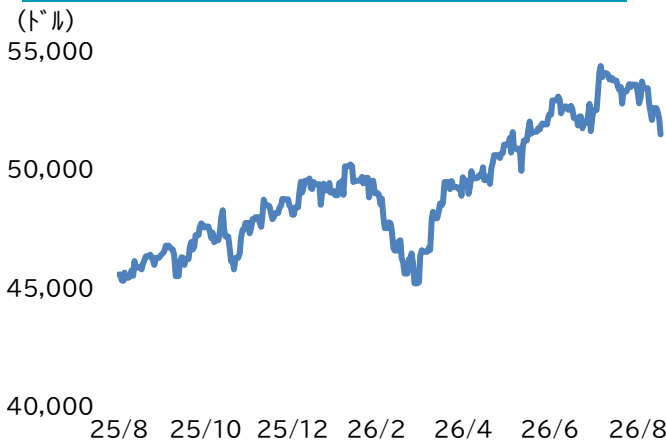


出所:FRBより弊社作成

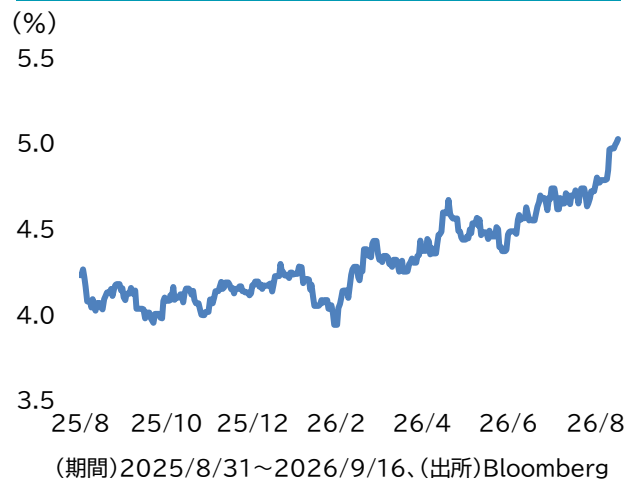
市場の反応(米国市場)

米国株式市場では、利上げの決定と年内の追加利上げ示唆が嫌気され、NYダウは前日比631.21ドル安の51,461.90ドルで取引を終えました。債券市場では、政策金利の見通しに敏感な米国2年国債利回りが、2024年7月以来の水準である4.74%前後まで上昇し、米国10年国債利回りも5%超えの水準で推移しました。為替市場では、結果公表後に米金利上昇に伴うドル買いが優勢となり、1ドル=156円台前半まで円安・ドル高が進みました。

NYダウの推移



米10年国債利回りの推移



評価及び今後の見通し

今回の利上げは市場で8~9割程度織り込まれていたものの、前回3名の反対票が出た状況から全会一致での決定となったことや、ドットチャートで年内の追加利上げが示されたことから、市場ではタカ派的な内容と受け止められました。ウォーシュ議長は8月下旬のジャクソンホール会議での講演同様、インフレ抑制を最優先する姿勢を明確に示しました。一方で、先行きについては、中東情勢とエネルギー価格の動向、他の品目への波及効果に対する不確実性が高く、今後の金融政策も見通しづらい状況です。FOMC参加者による2027年末の政策金利見通しは、4.25-4.50%(8名)、4.00-4.25%(6名)、3.50-3.75%以下(4名)に分かれています。また、米長期金利の5%台への上昇により金融環境が引き締められ、景気を冷やす可能性や、トランプ大統領の行動によりFRBの独立性を巡る緊張が高まる可能性にも留意が必要です。

(ご参考)今後の主要イベント

日程	イベント
2026/9/17~18	日銀金融政策決定会合
2026/10/27~28	FOMC
2026/10/28~29	ECB理事会

出所:Bloomberg